

おやま 小山 ろくろろう

活動
報告

我が故郷に、夢と希望と元気を!

ごあいさつ

日頃より、ご支援・ご指導いただきまして、誠にありがとうございます。新型コロナウイルス感染防止のため集会の開催を控えており、皆様にお会いできずにおりますが、いかがお過ごしでしょうか。

昨年春、県議会議員一年生としてスタートし、『地域のために』との強い思いで、未熟ながらも東奔西走して参りました。引き続き、災害に強い街づくり、農業、工業、商業に対する支援、介護士、保育士への処遇改善、高齢化社会に向けた地域づくりと、将来を担う子供達の健全育成を図るため尽力する覚悟であります。

「ここに住んで良かった」、「これからもずっと住み続けたい」と皆様に思ってもらえる地域となるよう、全力で取り組んで参ります。地域の皆様方の力強いご支援、ご協力を賜りますよう、何卒宜しくお願い致します。

小山ろくろろう



県議会にて、一般質問に登壇

「令和元年第3回定例会9月議会」



河川災害への対応についてー県管理中小河川の減災対策についてー

Q 河川災害を含めた災害に強い県土づくりを進めていく中で、築堤や嵩上げなどの恒久的な治水対策と併せて、中小河川における浚渫工事や伐木等のきめ細かな維持管理による減災対策が必要と考えますが、現在の取組状況と今後の対応策について、知事に伺う。

A 知事 過去の浸水被害発生状況や巡視により把握した危険度、市町村からの要望等を総合的に考慮した上で、優先順位をつけながら、県単独事業による河道掘削や伐木等を計画的に実施している。国へ必要な予算の確保を働きかけながら、引き続き、計画的、効率的な減災対策に取り組んでいく。

農業次世代人材投資事業への対応について

Q 新規就農者の確保・育成に向けた農業次世代人材投資事業の予算について、国から十分な配分が受けられていないと聞いているが、県内における交付状況と県の今後の対応方針について伺う。また、全額交付に向けて国へ働きかけるべきと考えるが、知事の見解を伺う。

A 知事 現段階での本県への配分額は3億8千万円、配分率も9割にとどまっているため、5月には私自ら農林水産大臣に予算の確保を要請したほか、あらゆる機会を通じて国に働きかけている。本県農業が将来にわたって発展していくためには、次代を担う新規就農者の確保が不可欠であることから、必要額の配分について、引き続き国に強く要望していく。

地域のために、全力で!!

秋田県議会 建設委員会による調査 様々な箇所で多様な視察を行い、勉強して参りました。

県内での調査



齊内川



土質川



国道105号



意見交換会

県外での調査



熊本県庁



阿蘇大橋



福岡市役所



博多港中央ふ頭

住民の安心・安全な暮らしのために災害に備えた強靱な県土づくりを目指して参ります

自宅での農作業



地域の
安全・安心活動



トラクターによる
交通パトロール



豊岡交通安全会
高齢者グラウンドゴルフ大会

国政との
パイプも十分



菅官房長官と



岸田政調会長と

様々な
要望活動



■小山緑郎プロフィール

昭和35年2月9日 大仙市豊岡生まれ 60歳
秋田県立大曲農業高等学校卒
中仙町議会議員を経て
平成21年9月 大仙市議会議員 初当選
〃 25年9月 大仙市議会議員 2期当選
〃 29年9月 大仙市議会議員 3期当選
〃 31年4月 秋田県議会議員 初当選

■現在

大仙市バレーボール協会 会長
大仙市交通安全協会豊岡安全会 会長
大仙市体育協会上仙支部 副会長